



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第522号

2021年9月27日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

コロナ禍のなかで医療センターの役割は

9月議会の一般質問で、東京女子医科大学八千代医療センターが、地域医療の中核病院として役割を担っているが、コロナ禍のもとで市民の安全・安心にどう貢献しているのか質問しました。

柏市では、新型コロナウイルスに感染した妊婦さんが、入院を拒否され自宅での出産を余儀なくされ、死産という痛ましい事故が発生しました。2度とこのようなことが起こらないためにも、医療センターでの取り組みについても確認しました。



医療センターでは、「新型コロナ感染者のうち、中等症以上の患者、あるいは感染した妊婦の受け入れを行う役割を担っている。近隣医療機関からの要請による重症化した患者や緊急搬送により中等症以上と判断された患者を受け入れている」との答弁でした。

感染症患者の受け入れ状況などは

医療センターでの感染者の受け入れ状況がどうなっているのか、ベッド数の確保状況やそれともなう補助金の交付状況について質問しました。

「千葉県より、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを行う重点医療機関の指定を受け、専用病床を18床確保。補助金については、国及び県から、また、本市の新型コロナウイルス感染症患者入院受け入れ支援事業補助金 1,427万5千円を含め、R2年度約9億円が交付されている」との答弁でした。

一般診療への影響についての質問に、「昨年の新型コロナウイルス第1波時には、全診療科と夜間休日救急外来で大幅に患者数が減少、特にR2年5月において、対前年同月比 平日外来 4,823人23%の減、以降若干の回復の兆しはあるが、コロナ禍以前の患者数までには程遠い」との答弁でした。

医療センターへ6,300万円の補助

医療センターでは、「新型コロナウイルス感染症治療には多くのマンパワーを必要とし、感染防止対策にも多大なコストがかかり、また、感染症患者の受け入れには使用病床数を大幅に制限することから、感染症患者を受け入れている限り、コロナ禍以前までの収支回復は望めない」との答弁でした。

八千代市は、東京女子医科大学を誘致するにあたって、82億円（毎年8.2億円10年間で、その後八千代市の財政が深刻になったことから延長を要望し、その支援も、2020年度で終了）もの財政支援を行ってきました。

八千代市の医療センターへの支援としては、本年度救急医療事業に要する経費に対する公的病院等救急医療事業補助金6,300万円を予算措置されているところです。

日本共産党は、今後とも医療センターが市民の安全・安心に寄与できるよう求めてまいります。ご意見・ご要望お寄せください。